

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・ 1 歳児クラスにおける、興味を引き出す環境構成による集中して遊ぶ
- ・ 時間の育成

<テーマの設定理由>

一歳児クラスでは、歩行や手指の操作が安定し始めて、自分の興味のあるものに自ら関わろうとする姿が多く見られるようになってきた。一方で周囲の刺激に気を取られやすく遊びが短時間で切り替わってしまう場面も多かった。そこで、子ども一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切に安心して腰を据えて遊べる環境を整えることで集中して遊ぶ経験を積み重ねられるのではないかと考え本テーマを設定した。

本園では、子どもの主体性を尊重した環境こうせいを大切にしており今回は、机上遊びを充実させることで指先を使った遊びや繰り返し楽しめる遊びにじっくり取り組める時間と空間づくりを行った。玩具の種類や量などを検討し、子どもが自ら選び、集中して遊び込める環境を整えることで落ち着いて遊ぶ姿や遊びに向かう時間の持続が見られるようになることをねらいとした。

2. 活動スケジュール

- 9 月 個々の成長や習熟度に合わせ室内環境を検討
- 10 月 静と動の活動に向けて環境を整える
- 11 月 遊びたい遊具を選択し、集中し遊び込む

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

(環境設定) 静と動の活動スペースの設定

指先や感触、知育玩具の充実

自己選択できる環境へ

- ・子どもたちが興味を持ちやすい指遊びができる仕掛け絵本や図鑑、パズルなどを多数準備し、机上で遊べる環境を増やした。
- ・子どもの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら関わることで、少しずつ集中して遊ぶ時間が伸びていった。

(変 化) 子どもの姿に変化。自己選択し集中して遊ぶ姿に繋がる。また、高月齢の子は、お友達と一緒に楽しむ(相談と助け合い)姿に繋がった。
遊びたい気持ちに折り合いをつけ、待つことができるようになった。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

環境を整えたことで、子どもたちは自分から絵本やパズルを手にとって遊ぶ姿が増えた。机上遊びに親しむ中で机に座って過ごす時間が少しずつ長くなり、一つの遊びに集中して取り組む姿が見られるようになった。また、落ち着いた環境の中で保育者の話に耳を傾けようとする様子も見られるようになり遊びや生活の中での集中力の育ちが感じられた。